

川崎市救急情報共有システム等導入・運用保守業務委託 プロポーザル選考評価基準

(100点満点)

評価項目	配点	主な評価の視点	加点項目				標準項目		
			a.大変良い	b.良い	c.可	d.劣る	e.良い	f.可	g.劣る
1. 本業務に対する理解	5	【標準項目】本業務の目的や課題等を十分に理解しているか。 【標準項目】企画提案書及び説明がわかりやすい内容となっていたか。また、質疑に対する応答が明確であったか。	/	/	/	/	5	3	0
2. 知識、能力及び実績	5	【標準項目】本業務を遂行するために必要な知識、能力及び実績等を有すると判断できる提案となっているか。 【標準項目】本業務の遂行に資する実績を有し、その実績を活かした提案となっているか。	/	/	/	/	5	3	0
3. システムの機能要件	20	【標準項目】本市が求める機能要件（必須項目）を十分に理解し、網羅された提案となっているか。 【加点項目】本市が求める機能要件（提案加点項目）が備わるシステムであるか。 【加点項目】本市が求める機能要件とは別に、有用な独自機能や運用方法等の提案があるか。	12	8	4	0	8	5	0
4. システムの操作性・見やすさ	15	【標準項目】救急現場での入力等の操作が考慮されており、無駄な手順を極力排除した操作で使用できる仕組みとなっているか。 【標準項目】入力・操作ミスを抑制する仕組みや、ミスが発生した場合でも容易な手段でリカバリーできる仕組みであるか。 【標準項目】医療機関側に傷病者情報がわかりやすく表示されるか。 【加点項目】救急隊・医療機関の業務負担の軽減やシステム利用の促進につながる有用な独自機能・運用方法の提案があるか。	9	6	3	0	6	4	0
5. システムの拡張性	10	【標準項目】今後のDXの発展、新たな技術の導入、拡張性など、将来を見据えた提案となっているか。 【加点項目】新たな機器・末端の追加、事務処理の変更などに柔軟かつ迅速に対応できる拡張性の高いシステムであるか。	5	3	1	0	5	3	0
6. 救急OAの機能要件	10	【標準項目】本市が求める基本機能を十分に理解し、網羅された提案となっているか。 【加点項目】救急隊・医療機関の業務負担の軽減やシステム利用の促進につながる有用な独自機能・運用方法の提案があるか。	5	3	1	0	5	3	0
7. 運用・保守業務実施体制	10	【標準項目】運用保守業務を遂行するために十分な業務実施体制（人員・組織体制、ヘルプデスク体制、保守対応等）であるか。 【加点項目】障害発生時の対応策が具体的に示されているか。また、原因究明及び再発防止策を行うための対応策が示されているか。	5	3	1	0	5	3	0
8. セキュリティ対策	10	【標準項目】本市が求めるセキュリティ対策を十分に理解し、網羅された提案となっているか。	/	/	/	/	10	6	0
9. 提案内容と見積書の妥当性	5	【標準項目】提案内容に対して、ランニング経費は妥当であるか。	/	/	/	/	5	3	0
10. 実証実験の参加実績	3	【加点項目】令和6年度に本市実証実験に参加した事業者であるか。（実際の救急現場で実施：3点、仮想環境で実施：1点、不参加：0点）	3	·	1	·	0	/	/
11. その他（自由提案）	7	【加点項目】その他本業務の円滑な遂行に向けた効率的かつ実現性のある追加提案はあるか。	7	5	2	0	/	/	/

【審査方法】

審査については、川崎市救急情報共有システム等導入・運用保守業務委託プロポーザル評価委員会において、企画提案書を提出した者の中から、企画提案書の内容及び企画提案内容に係るプレゼンテーションを総合的に勘案した上で、委員会委員が評価（点数化）し、各委員の評価点の平均が最も高い者を提案採用予定者として特定する。

ただし、各委員の評価点の平均が基準点（60点）を下回る場合は提案採用予定者として特定しない。

【同点の場合の措置】

各委員の評価の平均点が同点の場合、次の順序で上位の提案者を提案採用予定者とする。

ア 各委員による評価結果（評価項目10を除く）を比較し、「g.劣る」「d.劣る」「f.可」「c.可」の順に、評価数が少ない提案者を上位とする。

イ アで同点となる提案者が複数いる場合は、全委員の評価結果のうち、評価項目3・4の評価点の合計が高い提案者を上位とする。

ウ イで同点となる提案者が複数いる場合は、全委員の投票により順位を決定する。